



令和 8 年 3 月 6 日

新潟工科大学

新潟大学附属長岡小学校

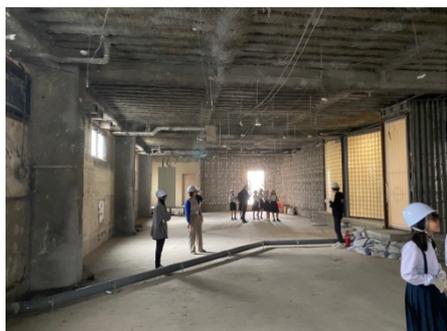
小柳建設株式会社

附属長岡小学校の児童がビル一階スペースのリノベーションを考える発表と審査会を開催します  
～長岡駅前大手通り沿い、Wise ビルの一階スペースが生まれ変わります～

新潟工科大学・新潟大学附属長岡小学校・小柳建設株式会社が連携して空部屋等のリノベーションを実施

新潟工科大学（学長：田邊裕治）、新潟大学附属長岡小学校（校長：平澤林太郎、以下「附属長岡小」）及び小柳建設株式会社（代表取締役社長：小柳卓蔵）は、産学連携で次世代ものづくり活動を通じたイノベーション人材の育成と実践に取り組むため、「Wise ビルプロジェクトーリノベラボ」（以下、リノベラボ）を立ち上げ、連携して進めてきました。

3月13日（金）、附属長岡小学校で行われるリノベラボ審査会において、5年生児童がこれまで考えてきたリノベーションのアイデアをプレゼンし、リノベーションに関わる様々な企業の方から審査していただきます。



ものづくり科の授業風景

## 1.本プロジェクトについて

### (1) 目的

産学連携で次世代ものづくり活動を通じたイノベーション人材の育成と実践に取り組む

### (2) 参加メンバー

新潟工科大学 新潟大学附属長岡小学校 小柳建設株式会社 （株式会社ワシヅ設計 株式会社山崎組  
大森木工株式会社 株式会社 ATOMica）

### (3) 経緯

- ・新潟工科大学では、予測困難な時代において、建学の独自性、学びのクオリティ、企業や地域との繋がりと等の特徴を生かしつつ、企業との連携強化、また将来に向けた新たな学びを提供し、「知の拠点」として、さらなる発展に取り組んでいます。
- ・附属長岡小では昨年度より、文部科学省の研究開発指定を受け、新教科「ものづくり科」がスタートしました。ものづくり科が誕生した背景として、熟練技能者の高齢化や若年のものづくり人材の不足が深刻化しているという日本の課題があります。次世代のものづくりに必要な人材、すなわち、社会環境の変化を受容し、新しい価値を付加できるイノベーション人材の育成を目指すため、幼小中一貫でものづく

りカリキュラムの開発を行っています。

- ・新潟県内の建設業界の課題として、建設業に対するイメージの向上、熟練技術者の高齢化、人手不足への対応、新卒採用の促進、生産性の向上が挙げられます。
- ・このように、それぞれが目指していることが合致したため、産学連携で次世代ものづくり活動を通じたイノベーション人材の育成と実践に取り組む運びとなりました。
- ・今回、附属長岡小5学年・6学年のものづくり科の授業として本プロジェクトを位置付けました。同授業の最初に、新潟工科大学倉知教授より、ビルのリノベーションの提案を受けた子供たち。実際に現地に見学に行きイメージを膨らませ、「誰が」「何のために」「どのように使うか」を常に考え、試行錯誤しながら図や模型に表してきました。
- ・今年度の5年生は、2年目の学年としてWise ビル一階のスペースを対象に、新たな課題に対して取り組んでいます。

## 2.リノベラボ審査会について

### (1) 日時

2026年3月13日(金) 9:35-11:20 (発表練習 8:45~9:30)

### (2) 場所

新潟大学附属長岡小学校 3階ランチルーム

### (3) 参加者

附属長岡小5年生, ステークホルダー(新潟工科大学, 設計や建築に関わる企業)

### (4) 内容

リノベーション案の発表

- ・子供たちが6グループに分かれ、リノベーションのアイデアを模型などで発表します。
- ・審査員から講評をいただきます。

※審査の上、これから実装していくアイデアを決めていきます。

## 3.問い合わせ先

【新潟工科大学】	【新潟大学附属長岡小学校】	【小柳建設】
担当：倉知 徹(工学部教授) TEL：0257-22-8180 Mail：kurachi@niit.ac.jp	担当：神林 一平(5学年主任) TEL：0258-32-4191 Mail：kanbayashi@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp	担当：堂谷 紗希(PR部 部長) TEL：070-7465-6642 Mail：saki-doutani@n-oyanagi.com